



東海道地名つなぎ

社会、国語、算数

D班（佐々木彰要ほか）

全体像

1. 『東海道往来』冒頭及び『外郎売』第5段落を音読し、音・リズムを楽しむ
or
教材を見せずに教員が音読し、聴覚情報から共通のワードを探す
2. 『外郎売』の第5段落と『東海道往来』冒頭に登場する地名に着目させる
3. 共通しないものも含め、読み取った地名を地図にプロットする
(「これらの地名って何だろう？」などといった発問から自発的に地図帳を開けると良い)
4. 表れる一本の線は何を表しているかを考える、
地名(宿場)ごとの間隔に着目してkmに換算してみる etc.

学び いま・むかし (1)言葉のリズムと往来物 (丹和浩)

https://d-archive.u-gakugei.ac.jp/exhibition/manabi_1

学芸大学のコンテンツアーカイブより引用

都路[みやこち]は
五十餘[いそじあまり]にみつの宿[やど]
時[とき]得[え]て咲[さく]や江戸[えど]のはな
浪[なみ]静[しづか]なる品川[しながわ]や
頓[やが]てこえる河崎[かわさき]の
軒端[のきは]ならぶる神奈川[かながわ]は
はや程谷[ほどがや]のほどもなく
くれて戸塚[とつか]に宿[やど]るらん……

(※[]内は振り仮名)



『東海道往来』 <http://hdl.handle.net/2309/00178659>
(東京学芸大学附属図書館所蔵)

外郎売

1.音読、2.地名に着目させる

歌舞伎あらすじ・外郎売セリフ全文 ふりがな付き日本の伝統文化五選 | 日本の伝統文化五選 (japanesestylesuki.com) より引用

本文段落五

ふな しいたけ さだ ごたん き ぐどん こしんぼち こたな こした
鮎・きんかん・椎茸、定めて後段な、そば切り、そうめん、うどんか、愚鈍な小新発知、小棚の、小下の、

こおけ みそ こしゃくし がってん こころえ
小桶に、こ味噌が、こあるぞ、小杓子、こもって、こすくって、こよこせ、おっと、合点だ、心得たんぼの

かわさき、かながわ、ほどがや、とつか はし い す さんり ふじさわ、ひらつか、おおいそ
川崎、神奈川、保土ヶ谷、戸塚は、走って行けば、やいとを擦りむく、三里ばかりか、藤沢、平塚、大磯がし

こいそ やど ななつ お そうてんそうそう そうしゅうおだわら こう かくれ きせんぐんじゅ はな えど
や、小磯の宿を七つ起きて、早天早々、相州小田原とうちん香、隠れござらぬ貴賤群衆の、花のお江戸の

はな はな み うぶこ はうこ いた ういろう
花ういろう、あれ、あの花を見てお心を、おやわらぎやという。産子、這ふ子に至るまで、この外郎のご

ひょうばん そんじ もう つのだ ぼうだ うす・きね
評判、ご存知ないとは申されまいいつぶり、角出せ、棒出せ、ぼうぼうまゆに、臼・杵・すりばち、ばちば

はめ はず こんち い いずれもさま あ う いき
ちぐわらぐわらぐわらと、羽目を弛して今日お出での何茂様に、上げねばならぬ、売らねばならぬと、息せい

ひ どうほうせかい くすり もとし やくしによらい しょうらん うやま
引っぱり、東方世界の薬の元締め、薬師如来も照覧あれと、ホホ敬って、ういろうはいらっしゃりませぬ

か。



『市川海老蔵の外郎売』
(国際日本文化研究センター
宗田文庫所蔵)

https://jpsearch.go.jp/item/irc01-ircjs_ircjs_ircjs_soudabunk_ozuhansiryuu_00000394

地図

[官板実測日本地図（畿内・東海・東山・北陸） - ジャパンサーチ \(jpsearch.go.jp\)](#)



3. 地名を地図にプロット 4.展開

『官板実測日本地図（畿内・東海・東山・北陸）』
（九州国立博物館所蔵）

<https://jpsearch.go.jp/item/cobas-175660>

収録元データベース : Colbase